

患者さんおよびご家族の皆様へ

体外循環症例データベース事業について

このデータベースは、一般社団法人日本体外循環技術医学会（以下、JaSECT）による心臓外科領域に関する手術あるいは治療に用いられる体外循環（※）の記録を全国規模で長期間にわたり電子的に保存するための枠組みです。この保存され蓄積された貴重なデータは統計的に処理され、客観的な指標へと姿を変え、体外循環を実施する医療関係者に有効に利用されることとなります。この取り組みが体外循環の安全の追求に、そして、技術水準の向上に繋がり、結果的に患者さんの利益が向上していきます。

この活動を通して、最善の医療技術の提供とともに、社会へ貢献していきたいと考えています。皆様のご理解とご支援を賜ることができれば幸いです。

※体外循環とは

広義の「体外循環」は、生体外に造設された血液回路を通ずるすべての人工的血液循環を意味し、代表的なものとして心臓手術で用いられる人工心肺や、人工腎臓による血液透析などが挙げられます。心臓手術を行なう場合、心臓を止めて手術を行ないますが（一部症例除く）、心臓を止めてしまうと生命の維持は不可能になってしまいます。この時、心臓と肺の機能を代行する装置が人工心肺装置です。人工心肺装置を用いることにより、心臓を止めた状態で安全に手術を行なうことが可能となります。

【当院窓口担当】

施設名 : 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
部 門 : MEセンター
担当者 : 主任臨床工学技士 原 慎一郎
電話番号 : 092-852-0700 (代表) 内線番号 6278

【JaSECT ガイドライン策定委員会】

URL : <http://www.jasect.jp/>
(お問い合わせはホームページ内「お問い合わせ」からお願いします。)

※お問い合わせは当院窓口またはJaSECTガイドライン策定委員会までご連絡ください。

1. 本データベース登録の対象について

本事業は、人工心肺装置を用いた心臓外科手術を受ける全ての患者さんが対象となります。

2. 本事業への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意志に基づくものです。参加されたくない場合は、拒否する自由を保証いたします。参加を拒否されたことにより日常の診療等で患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

3. データ登録の目的

患者様により良い体外循環を提供するために、JaSECTでは体系的に登録された情報を解析して、体外循環の質改善に向けた検討を継続的に行っています。本事業参加施設は、国内の標準的成績に照らして自施設の特徴と課

題を把握し、改善に向けた取り組みが行えます。

また、全国の皆様が安心して体外循環を用いた手術・治療を受けられるように、より良い体外循環のあり方を示すための基礎資料になります。さらに、様々な研究と連携することで、臨床現場へ確実な技術を提供するための取り組みに協力することができます。

4. 登録される情報の内容

登録される情報は、日本国内で行われた手術・治療に用いられた体外循環の方法等です。これらの情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定できるものではありません。しかしながら、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報保護法」、「疫学研究の倫理指針」、「臨床研究の倫理指針」等）を遵守しています。登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、受診された診療科にお問い合わせください。

<主な登録データ内容>

- 体外循環に関する各種時間（体外循環時間・大動脈遮断時間 等）
- 各種使用物品
- 血液製剤使用量
- 術中検査データ

5. 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の体外循環技術の向上ならびに手術・治療へのより良い医療技術提供に役立てるために、参加施設ならびに臨床領域に還元されます。この際に用いられる情報は集計・分析された統計情報のみです。患者さん個人を特定できる情報は一切提供されません。情報の公開にあたっては、JaSECT のガイドライン策定委員会で十分に議論し、承認を得た情報のみが公開の対象となります。